朝鮮王族

昌德宮李王	御名	垠	御誕生	明治七年三月二十五日
同妃	御名	梨氏	御誕生	明治三十七年九月十九日
同王世子	御名	晛	御誕生	明治三十年十月二十日
德壽宮李太王	御名	熙	御誕生	嘉永五年九月八日
李堈公				
李埈公妃	金氏		御誕生	明治十年三月三十日
二男	玧			

天皇御歷代

| | | | |

大正七年戊午略暦

神武天皇即位紀元二千五百七十八年

四暦紀元一千九百十八年

大

陽暦 一 三 五 七 八 十 十二

陰暦 己丁 十一 戊午 正 四 六 八 九 十

八せん

小

陽暦 二 四 六 九 十一

陰暦 己丁 十二 戊午 二 三 五 七 十一

庚申

四方拜	一月一日	小寒	一月六日
始祭	一月三日	大寒	一月廿一日
新年宴会	一月五日	立春	二月四日
紀元節	二月十一日	雨水	二月廿三日
春季皇靈祭	三月廿一日	啓蟄	三月廿三日
神武天皇祭	四月三日	春分	三月廿四日
明治天皇祭	七月廿日	清明	四月廿一日
天長節	八月廿一日	穀雨	四月廿六日
秋季皇靈祭	九月廿四日	立夏	五月六日
神嘗祭	十月十七日	小満	五月廿一日
天長節	十月廿一日	芒種	六月六日
新嘗祭	十一月廿三日	夏至	六月廿一日
地久節	六月廿五日	小暑	七月廿三日
		大暑	八月廿三日
		立秋	八月廿八日
		処暑	九月廿三日
		白露	九月廿八日
		秋分	九月廿三日
		寒露	十月廿八日
		霜降	十月廿三日
		立冬	十月廿八日
		小雪	十一月廿三日
		大雪	十二月廿三日
		冬至	十二月廿八日
		小寒	一月六日
		大寒	一月廿一日
		立春	二月四日
		雨水	二月廿三日
		啓蟄	三月廿三日
		春分	三月廿四日
		清明	四月廿一日
		穀雨	四月廿六日
		立夏	五月六日
		小満	五月廿一日
		芒種	六月六日
		夏至	六月廿一日
		小暑	七月廿三日
		大暑	八月廿三日
		立秋	八月廿八日
		処暑	九月廿三日
		白露	九月廿八日
		秋分	九月廿三日
		寒露	十月廿八日
		霜降	十月廿三日
		立冬	十月廿八日
		小雪	十一月廿三日
		大雪	十二月廿三日
		冬至	十二月廿八日

社日 彼岸 土用

春分	三月廿一日	夏分	九月廿三日
八十夜	五月二日	秋分	九月廿八日
立春	一月廿一日	立冬	十月十八日
立夏	五月六日	立冬	十月廿一日
土用	一月十七日	土用	十月十八日
土用	四月十七日	土用	十月廿一日
土用	七月十八日	土用	十月十八日
土用	十月十八日	土用	十月廿一日

甲子

一月	十八日	五月	十八日
二月	十八日	六月	十八日
三月	十八日	七月	十八日
四月	十八日	八月	十八日
五月	十八日	九月	十八日
六月	十八日	十月	十八日
七月	十八日	十一月	十八日
八月	十八日	十二月	十八日
九月	十八日		
十月	十八日		
十一月	十八日		
十二月	十八日		

己巳

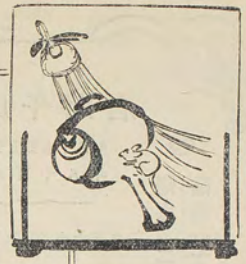
一月	十三日	五月	十三日
二月	十三日	六月	十三日
三月	十三日	七月	十三日
四月	十三日	八月	十三日
五月	十三日	九月	十三日
六月	十三日	十月	十三日
七月	十三日	十一月	十三日
八月	十三日	十二月	十三日
九月	十三日		
十月	十三日		
十一月	十三日		
十二月	十三日		

日曜表

年暦

大化五 白雉五 齊明七 大智十 白鳳十五 朱鳥十 文武四 大寶二 慶雲四 和銅七
霊亀二 養老七 神亀五 天平二十 天平感宝一 天平勝宝八 天平神護二 神護景雲三 宝亀十一 天応一
延暦二十四 大同四 弘仁十四 天長十 承和十四 嘉祥三 仁寿三 斉衡三 天安二 貞観十八
元慶八 仁和四 寛平九 昌泰三 延喜二十二 延長八 承平七 天慶九 天暦十 天徳四
応和三 康保四 安和二 天禄三 天延三 貞元二 天元五 永観二 寛和二 永延二
永祚一 正暦五 長徳四 長保五 寛弘八 長和五 寛仁四 治安三 万寿四 長元九
長暦三 長久四 寛徳二 永承七 天喜五 康平七 治暦四 延久五 承保三 承暦四
永保三 応徳三 寛治七 嘉保二 永長一 承徳二 康和五 長治二 嘉承二
天永三 永久五 元永二 保安四 天治二 大治五 天承一 長承三 保延六 永治一 天仁二
康治二 天養一 久安六 仁平三 久寿二 保元三 平治一 永暦一 応保二 長寛二 永万一 仁安三
嘉応二 承安四 安元二 治承四 養和一 寿永二 元暦一 文治五
建久九 正治二 建仁三 元久二 建永一 承元四 建暦二 建保六 承久三 貞応二
元仁一 嘉禄二 安貞二 寛喜三 貞永一 天福一 文暦一 嘉禎三 暦仁一 延応一 仁治三
寛元四 宝治二 建長七 康元一 正嘉二 正元一 文応一 弘長三 文永十一
建治三 弘安十 正応五 文保二 元亨四 正中二 嘉暦四 元徳二 元弘三 正慶二 建武二
永仁六 正安三 乾元一 嘉元三 徳治二 延慶三 応長一
正和五 文保二 元亨 正中二 嘉暦 元徳 元弘 正慶 建武 延慶 応長
中九 嘉暦二 嘉慶二 康暦二 永和四 康応二 明徳三 嘉吉三 文安五 享徳三 寛正六 文正一 応仁二 文明十八 長享二 延徳三 明応七 文亀二 永正十八 大永七 享禄四 天文二十三 弘治三 永禄十二 元亀三 天正十九 文禄四 慶長十九 元和九 寛永二十一 正保四 慶安四 承応三 明暦三 万治四 寛文十二 延宝八 天和三 貞享四 元禄十六 宝永七 正徳五 享保二十 元文五 寛保二 延享四 寛延三 宝暦十三 明和八 安永九 天明八 寛政十二 享和三 文化十五 文政十二 天保十二 弘化四 嘉永六 安政六 万延一 文久三 元治一 慶応三 明治四十四 大正七

（※八花朔ノ年度十一月○神武天皇即位紀元ハ西暦ノ年ヨリ
紀元前六百六十年ヲ引キ



一月 大

むつ月 太郎

祝祭

四方拜 一日
朝拜 三ケ日
元旦祭 三日
政始 四日
新年宴會 五日
初水天宮 五日
消防出初式 六日
陸軍始 八日
寒詣祭 九日
初企比羅 十一日
萬歳樂天皇誕生祭 十一日
初大師 十一日
攝津住吉部野祭 廿四日
初天神 廿五日
初不動 廿八日
孝明天皇祭 三十日

正月やよき旅をして梅を見る　碧梧桐

氣節

小寒（六日）　冬至の後十五日目此日を節の入といふ節氣大に寒るなり
土用（十八日）　小寒の後十二日目より立春に至る
大寒（廿一日）　小寒の後十五日目節氣極に募る

行事

三ケ日雜煮を祝ひ蘇を飲む、年賀廻禮○元旦には年男若水を汲み稲茶を沸かす、恵方は巳午の間なれば其方向に神詣でをなす○二日禮初、書初、船乘初、着衣初、湯殿初謠初などを行ふ○四日官吏御用始○五日初子を祝ひ野遊び小松曳きなどす、八せん○六日門松を撤す、此日小寒なれば寒固めの小豆餅を食ふ○七日齊打、七種粥を煮る○八日初卯、攝州住吉、東都龜戸天神等に參詣し妙義の札を受く○十一日蔵開○十三日庚申○十五日小豆粥を煮る○十六日藪入、閻魔詣○十七日甲子○二十日骨正月、鯛の吸物を吸ふ○二十二日己巳。

節用

【食品】鯛、鰤、鱒鮭、鱒鱈、伊勢海老、數の子、田作、白魚、押鮎、鮪、燒鯊、鮮、新乾海苔、牛蒡、胡蘿蔔、大根、蕪菁、小松菜、開豆、開牛蒡、昆布、蒲鉾、搗栗、蜜柑、橙、林檎、串柿、餅、雁、鴨。

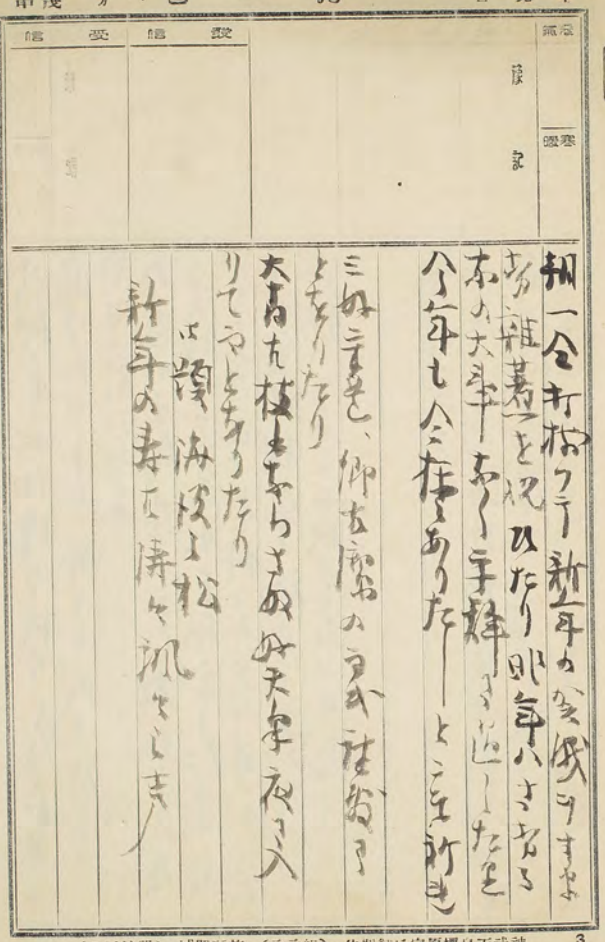
【觀賞】松、梅、南天燭、水仙、福壽草、藍柑子、寒菜、寒牡丹、雪割草、山茶花、匂ひすみれ、クローカス、椿、初日の出、初富士、新年の雪。

【遊覽】初卯參、恵方參、閻魔參、野遊、小松曳、若菜摘、雪見、二重橋に至りて文武百官參賀の正裝を見るも興あり、初芝居、二の酉、國技館の春季大相撲。

【趣味】和歌、俳諧等初會、茶事、歌留多會、謠曲、圍碁、双六、追羽子、凧、狩獵○養蘭、牡丹等根接、梅の接換、蓼、蘭蓋、茶、桑、楮、葡萄其他果樹類の施肥、溫床に廿日大根、蕗豆、高菅等を播く、大根、蕪菁、京菜、白菜、胡蘿蔔、菠薐草、蓮根、慈姑、芹、牛蒡等の收穫。

本書の内

寒暖	摘記	發信	受信



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

無印
藤 記
寒暖
發信 受信

此度より小雨降り続き寒気ありて
晴きたるとも寒さ一入きびし
昨日に引続き
今年は婦津人三百枚、白ふく反
五百枚、一年受状を用ゐしたるも自
分に分ハ已と差支に不足ゆえ新しく
一五拾枚余り新吉を買入たり
本数ハ千四五百枚ともなわ

無印
藤 記
寒暖
發信 受信

天之毛百年度たるもとも風強し
朝角田吉二郎ゑ年賀ス
きさらぎまで
本日外出せず夜分
一本数不ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十時出発　出発年頭し祝詞を述べ
午後出発帰途　無事午後四時墨江
墨江、美津、蓮月、おれ、短冊、
北斗布引の巻
七枝七枝ってあるもの
夕刻、村上鳳明、伏佐天者丸若井菜
本山社者、巻、曉者、鳥獣島、双陽丸
松一、我鯛彼者桜、三陽丸、皆成
欲ス
帰途　沖茂の方へきまして
三男ヨーく沖茂を或くや幸と年
盛物、美三を、あくる佐島、者
夫ニ、ものし

朝を出ありたまとし手ねりたまき
ひ相屋かゝ右ヨ重
手繋、佐井、基、集、弄多、今、
帰途　墨、鳥、芒、見、ゆ、て
帰途　基、佐　正木乃、夏、宵、戦　五円
赤、膚、山、木、白、夏、宵、支　三拾
仝　午羽、直　三円
ゝて、買、水、む

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

経過 摘要 記事

発信 受信

青森次郎氏より大師に対して市長推薦の報告あり

白備前橋と島の墨絵（白三枚五円）

神戸ノ茶碗　十二円

世世吉世隆の文化　十八円

外ノ表具屋の表具（七十銭から）なり

是帰る白備前の置物ノ疵あるを表元

又しあるを知りきりも言ふを止た

ありて托してよせず目先の見へぬ主人と

言ふのみなし

経過 摘要 記事

発信 受信

三宮の令旨

[illegible]一人き死し十世吉世社

[illegible]四日元[illegible]十二日世吉世[illegible]

[illegible]

北陸大雪ヲ為メ後事生来社絶

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社寺の全日

冠婚　葬祭　誕生　死亡　授産　信教　受信

三年分出一度へよし　土社

市場の事なり美文と言ふべき物なり

文集と言ふ文集事なり所謂

昨夜より風ありて近火なり

朱海老法事法度者と大坪附近と立

往生の事外なり

父上は興日として寿々延夜業鶏と奉

事なりなり

社寺の全日

冠婚　葬祭　誕生　死亡　授産　信教　受信

昨夜本年元日以来初めて星の銭

瓶の水氷りたり日中も事外に温和なり

十時生出松浅事停停なるや本

物なりき

寿々、叔父来訪す

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	發信	受信
藤	藤	

出會の分

太社

發信	發信	受信
藤	藤	

出會の分

太社

[illegible]

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昨日岸坂部父歴宮角メを社使用人一令を帝劇に乗りしたり
仲優い車四台、松車、二五十台、松助
言を亀甘を乗りて
不川五右衛門、博、又ず
おたり日本村 髪松おたり
土珠、
南小絶者、
ゴロ歳
仲優一令を車掛り乗りきりて歳松
したり我甘一令を甘をなりて
御けた ナドを甘きまのきとの感
ありたりき十二仲次郎充
出社

社村岸きより来坂三仲の囲碁
会より社五令を乗りたり夫き
より阪戒印太り式を松待し
たり田中川より令席春木、島村、
長村、青海、十仲沢郎充

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

紙幅　摘要

發信　受信

出勤お文朴刀菓子屋

出社、

きさいたらば

事後用かけたの書状を受とるメ

新土地かり

紙幅　摘要

發信　受信

出社

少松五郎ゴ下ゲト共ニ

本郷ノ料亭ニ会食

会シ四ツ谷三河ヤニ昼食

二子ヲ市盛ヘノ相談ハ

ヤメト

新旧俠

新橋田原陽子鬼ノ件出勤ハ長ク

ヲセリ文ヨリ会計幹事会ハ出席ス

ヤ準備ハ出ス出ス

新年祝宴ノ事ヲ京阪ノ方ヘ

も及ボシ後ノ幾ヲ年ノ年明ヲ来

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

種別	摘要	發信	受信
書翰	藤 記		

玄社

[illegible]

種別	摘要	發信	受信
書翰	藤 記		

玄社

[illegible]

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

電報	摘要	發信	受信
	社記		

出社

板垣氏桂助ト共ニ今一度ガ会
堺ト迄ヲ又ヲ会ス時ハ社員
来社相談ス仲 ヨリ政像事目ヲ
送カス
高会ヲ送ル事ハ林横田任西大使
帰京ス 外務省 松浦今校無
下ル社長ハ三宮ヲ以下出
ル
由北海道開拓使ヲ以テ本
訪ス十業ヲ為大命ヲ制ス
地地位ヲ本移半個ヲ卒ス
ト知ル

電報	摘要	發信	受信
	社記		

出社

十一時頃ヨリ板ヨリ出ル十業ヲ
所本山政方ヲ訪ス会ヲ
総代ヲ来ル
高知ヲ出ル十業の数又
ヲ出ル明日の角力ヲ
ヲ大阪ヲ発ス
大発ス 明大 永徳天ヲ発業の角力ヲ
天十日ヲ
米国会ヲ
本月二日 帝素ヲ二ヲ望地相養軒
ヲ校ヲ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	受信

紙幅 寒暖 記事

[illegible]

發信	受信

紙幅 寒暖 記事

[illegible]

[illegible]

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

日本新聞社

出社

[illegible]

[illegible]

[illegible]

經費	摘要	發信	受信
	雜記		

玄社

此夕中央亭ニテ長村ノ新年宴会ヲ
アリ来会者百八十余人桐島村長ノ
村発展ノ報告（戻七名人）ニ付保キ
本此村老ノ考様アリ村又ヲ年甚界
後例ノスベカラザルヲ云フ宴会ノ前ニ
ミ村使ノ先代、伯爵ノ過渡、村長来
久ヨリ酒ヲ子定三百度（清文止来太又ノ地）
ヨリ飲人ニテ大村散会

皆大夕張玄張ノ心ガラリ大夕張
ノ火災ハ校舎要シトラザル電
報アリ

經費	摘要	發信	受信
	雜記		

玄社

先ヲ年住険料二十七円五銭五厘
二ヲ近ヲ明仏年ニ支拂ノ
夜分鈴ノ鳴ル音聴アリ、村住ノ
故ノ見ル
上五年中若三ノ人ニ付夕村役、田舎ヲ
村ノ神官ノ要勢アリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

出社

今日大取立てゝ云ふ程の事もなし立川
帝座夜分陸軍者来たりて某し件話大
体之書ヲ出ス

日曜なれ共昨日夜分ヨリ変ニ
外出セス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寒暖	氣象		發信	受信
暖	晴			

六十日ニテ元分無要ヲ以テ引籠ル

寒暖	氣象		發信	受信
暖	晴			

引籠ル
今朝ヲ以テ元勲了ヲ来ル案嘱
其ノ要旨ハ
林氏ノ根岸電信ヲ以テ報シ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

氣象

暖寒

雜記

政信　交信

威海衛總攻擊（明治二八）　孝明天皇崩御（慶應三）

氣象

暖寒

雜記

不第

会合至ルカ又遠所ヨリ

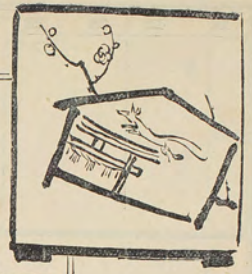
移来ル

政信　交信

暴徒西郷隆盛を擁して亂を起す（明治一〇）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

二月 小 きさらぎ 梅見月



祭

河内枚岡祭	一日	
日向鵜戸祭	一日	
新年祭班幣	四日	
初午	四日	
加賀菅生石部祭	十日	
紀元節	十一日	
神宮新年祭宗教	十七日	
仁孝天皇例祭	廿一日	
菅公祭	廿五日	

氣節

節分（三日）　大寒の後十三日目年越と稱し冬籠を春を迎ふる日
　　節分の翌日此日より春なり
立春（四日）
雨水（十九日）　立春の後十五日目雪散じて水となるの意

行事

二日、灸をやく、之を二日灸と稱す○三日節分の行事○四日初午、赤飯を蒸し稲荷祭を行ふ○八日事始め、舊慣に依り牛蒡、芋、大根、小豆等を入れ御事汁を造る、又此日婦人針の折を淡島社に納めて一日針糸の業を休む針供養と稱す○九日釋奠、先聖、先師を祭る○十一日紀元節を祝す○十五日四行忌、餅花を煎る、涅槃會○十六日二の午○二十八日三の午。

節用

【食品】一月に出でたるものゝ外、鯉、鮒、貝の柱、鰒、牡蠣、目刺、蜊、鳥貝、鰈、鰍、里芋、三つ葉、慈姑、八つ頭、鶯菜、獨活、園ひ梨、金柑、文旦、オレンジ、バナヽ、小鳥、鳩。

【觀賞】柳、葉牡丹、紫金牛、萬年青、アネモネ、フリージヤア、シネラリア、プリムラ等。

【遊戯】各所梅園に杖を曳き、鮒釣に河沼を渉獵するも面白く、銃獵亦可なり、節分には、淺草、龜戸、川崎、成田等に盛んなる追儺式あり。

【趣味】爐を圍んで茶事を行ひ、或は閑話に耽くるもよし、鶯の啼合會など興あるべし○桔梗、石竹、天花女、矢車草、松、樅、苦竹、淡竹等の移植、芍藥、エニシダ、早茄子、早胡瓜の床播、獨活、蕗、草苺等施肥、柚、橙、枳殼、杉、扁柏、檜、巴旦杏、桃、栗、金蓮花等を播く。

柄樽のほろ〳〵落つる二月哉　子規

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

氣候 晴 暖

發信 受信

氣候 晴 暖

發信 受信

此日武庫氏ヲ招キ於我宅夕食ス
夜分二至ハ交ゝ夫ヲ食ス
暴ヲ中ニ耳ノ痛有リ
ソレヨリ少シト耳ノ痛ミ覺ヘ
夜眠ラズ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

氣象　暖寒

發信　受信

氣象　暖寒

發信　受信

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	發信		記録	寒暖
		晴 曇 雨		

受信	發信		記録	寒暖
		晴 曇 雨		

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

氣象	寒暖	發信	受信
晴	寒		

生育の全日

日露兩國開戰十日宣戰の大詔渙發（明治三七）

氣象	寒暖	發信	受信
晴	寒		

生育の全日

我艦隊仁川に於て露艦二隻を擊沈す（明治三七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	發信		氣温	寒暖
		藤		
		花		

受信	發信		氣温	寒暖
		藤		
		花		

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

住書の名目

郵便	書類		發信	受信
		蘭		

三月 大 や花よ見ひ月

駿河神部祭	三日
駿河浅間祭	三日
紀州大濱御祭祭	三日
粤防野田祭	五日
陸軍記念日	十日
若狭若狭彦祭	十日
大和春日祭	十三日
上野貴船祭	十五日
播津廣田祭	十六日
豐前宇佐祭	十八日
春季皇靈祭	廿一日
陸前志波彦祭	廿九日

祝祭

氣節

啓蟄（六日）雨水より十五日目蟄虫啓の氣に感じて動き戸を啓いて出づる意

彼岸（十八日）春分の前後三日宛併せて七日間をいふ此間天皇諸神祭官を集めて一切の誤謬を注すといふ佛説あり

春分（廿一日）啓蟄の後十五日太陽春分點に達する時なり

社日（廿二日）春分の前後にて最も春分に近き戊の日社稷を祀る

時は彌生書を賣り山を買はんする　紅葉

行事

一日雛壇を飾る○三日上巳の節句、雛を祭り膳を供へ白酒を上ぐ、兒女等友を招ぎて嬉戯し雛の饗を頒つ、草餅を作る○六日八せん○十四日庚申○十五日梅若忌○十八日彼岸、佛に供し寺に詣し親族、知己に蒸し物、揚物其他の贈答を行ふ、人魚忌、甲子○十九日嵯峨清涼寺御身拭○二十一日御影供（弘法大師の忌）○二十三日己巳○廿五日蓮如忌。

節用

【食品】一月、二月に出でたるものゝ外、若鮎、飯蛸、鯖、生鱈、蛤、鮟。赤貝、蝶螺、烏賊、紡鯖、鯛、海鼠、蓮根、芹、馬鈴薯、和布、ぜんまい、分葱、鷄餅、菜飯、木の芽田樂、白酒、菱餅、豆煎、赤飯。

【觀賞】木瓜、辛夷、木蘭、彼岸櫻、山吹、胡蝶花、海棠、春蘭、三色菫、菜花、ヒアシンス、サイネリア、歸雁、春雨、雲雀、燕、霞む山、烟る柳。

【遊戯】郊外散策、摘草、彼岸櫻見物、踏青（三日）伊勢參宮、大和巡り、京見物、又四天王寺念佛踊（彼岸中日）嵯峨大念佛（九日より十五日迄）向島梅若忌（十五日）等には遊覽と稱するも可なるべき餘興あり。

【趣味】謠曲、彈琴、三曲合奏、歌、狂歌、俳諧、詩會等の遊技は季に關せざるも此月之を行ふ春陽の氣に觸れて興趣も深かるべし、彼岸の釣、ベースボール又快多し○烟草、夏葱、藍、蒿苣、桑、茶、柿、椎、楠、楊柳、落葉松、胡桃、甘藷、蕃椒、刀豆、南瓜、瓢、絲瓜、冬瓜、玉蜀黍、百合、罌粟、撫子、トマト、茄子、芋等の播種實附柑類の剪定亜に施肥。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	受信

發信 | 受信

摘要 | 暖寒

記

北日久ヒテ社ヲ出ル
社長ヲトテ郷朝ノ金田村上伴雄
ヤ一面会又

發信	受信

發信 | 受信

摘要 | 暖寒

記

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	發信		寒暖	氣候
		藤		無
		記		

受信	發信		寒暖	氣候
		藤		無
		記		

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	寒暖	摘要	發信	受信
晴	暖			

天氣	寒暖	摘要	發信	受信
晴	暖			

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	發信	氣候	寒暖
		緣	記

太郎

受信	發信	氣候	寒暖
		緣	記

太郎

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

出勤
妻久良木氏来り名刺を
出勤前に来り而今夕
帰宅上京事に付国民廿年
祝の為め今夕神社

午後
梅田来れり一坪坂に事業
上に世話の成り
朝鮮及滿洲白にて
白にて新聞紙
行運板契約金
の事に付き

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

氣象　暖寒　摘記　發信　受信

晴

[illegible]

[illegible]

[illegible]

発信	暦	摘要	受信	発信	受信

天皇 到 四十七、

出動

中川上佐 ヲ以テ 本日 東京ヘ 向ケ 進発ス

本日 カ ケ ヒレ ヲ 若松 報 銃 処 ノ 白 に 民 ヒ

進発ス

中島 本 サ ニ ア ノ 兵 ア 并 ニ 其 出 発 ス 和

十六日ノ会合ノ所ル

発信	暦	摘要	受信	発信	受信

会合

仮温和

十六日出動ス

解散会社ノ 組織ヲ 相田ト 打合

セラレタス

久米上京ノ 夜十時 出発 本ル 海ヨ

ノ 様 ニ 年 ヲ 終 リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信	受信	発信	受信
寒暖	摘記		

出書の名

半島ニ出テ兵ヲ入レテ所
ヲ十年出動
ヲ立テ社長武会合
夜分委本天皇武来訪
岡山県田区城ヲ病死ノ報知アリ
ヲ若子ヲ悲ミ悲ミ涙ヲ流ス

発信	受信	発信	受信
寒暖	摘記		

出書の名

所
出発
三月廿日キヨリ神戸ノ病院ニ入ル
リ帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝曇リ八時頃ヨリ雨正午過キヨリ晴ル

丸田秀文ガ来レリ校物ニ行金次西大久保百千住本校ノ附近トヲ通ビ一二名ノトラレタル小供ノ笑ヒヲシ作綾度シ文ヲカ胸ヲ打チタリコラヘテ丸田ガ帰ル時ニ三十分ヲ費シ郷リガケ南部郷ノ花ヲ名刺ヲ投シ郷ヲ胸ノ疾痛ヲ対シ上キ来ラサレタリ

晴天

本年ハ桜花ガ本年度ハ又那須川ノ流シ本年度ハ男ノ後助ヲ変リ口ヲ名ハ名ヲ話ス合人作吉トリ違ヘニ百年ノ男見ヘ花公園ノ祈リ面ヲ場合ハ自分ヲ取ヲ下ヲ名ヲ分ヲ作ヲ金数ハ年度ヲ中出ハ天地京廣ロ上海ヘモ仏分ハ下ニ五七星カレタリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

冠婚　葬祭　寒暖　記事

時

朝早くより空よりは日もおし空よりは
雨ふりつきハ日出ハ出ぬ
きたり十一時出船
て御川井、三村、高知男し諸
氏上京来訪
夜分寿久ト教方築土ハ帰ト
参ル
美解、妻子、昌子ノ短冊
加藤句
景山、右ノ句ノ書二枚、
西松田ヨリ来ル外ニ雲屋ノ花瓶
松田ヨリ来ル借リ来ル

冠婚　葬祭　寒暖　記事

第九冊
出勤
午前ハ十時ニ出船ヨリ又仮入サセ
帰宅ノ途次進藤ヲ送ヘタリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午後より風ありて天気清朝よりも
午後一時より玉川岩田堂廟に行て
(自転車にて)帰途我川に立寄る
書籍不在なり
午前八時井阪八郎三本信三本訪
午前十時半小友太郎代来る
帰宅の際桑田正輔堅ゝより訪ひ
南戸畑に事業見習の事に付話し
まり帰宅
夜分母上次郎分来る

午前
同僚と共に行り学校初メテ登
校
帰途
夕方外出し雨かゝり帰る

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	発信	摘要	記事

三月廿三日

出張

帰途神尾医院ニテ珍客ヲ迎リ
耳ハ最早全快夫院ヘ及ハス移リ
モ差支ヘアルマイトノ事ナリキ御供ニ付
百円ヲ神尾ノ妻君ニ渡シ帰ル
二朱二匹氏丸伝ノ出張（百姓山ノ灰坂ノ
不合ニ付交ヘ行リ）

受信	発信	摘要	記事

天気

三好屋ヨリ上野ヘ出ントシ金次ニ
対面シ接物ヲ出ル今人在宅中談時
ヲ移シ上野ヘ行カストテ帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

電報	發信	受信
緩急		
摘要		

風強く雨降る
出動
[illegible]
香港[illegible]
[illegible]
久しく[illegible]出動ス

電報	發信	受信
緩急		
摘要		

新聞風強く午後より雨降る
出動
良出ノ所南ヨリ[illegible]行キ[illegible]人
[illegible]
中ヶ未月七八日ヨリ[illegible]
[illegible]
[illegible]

寒暖	記事	殺傷	受信

暗殺事件

之助

刑白石より備前代水滝社に宿る孤川不在より午餐を出き社長と面談

二十九日若松行キノコ決ス

電話にて又郎様の養子牛之介様

午後ト折合ス山本達雄氏ハ別

ヨリ四五午図ヒキトノ事ヨリキ

南条田い反田未決ヨリヒキ

ヒ決ス

夜分帰郷ヨリ反田明日来訪スル

キヨリ十八ヒ十五ヒ折合ヒ

折合社役刑事ハ来月帰京ス

寒暖	記事	殺傷	受信

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	發信		紙幅	寒暖
		諸記		

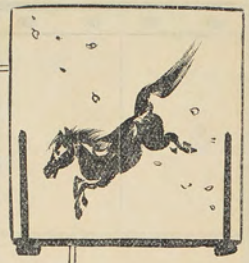
受信	發信		紙幅	寒暖
		諸記		

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

郵便	寒暖	摘要の欄	受信	発信
	藤記			

鐵道國有法並に京釜鐵道買收法公布（明治三九）

四月 小 うつき 得鳥羽月



祝祭

大和大和祭	一日
山城松尾祭	二日
山城平野祭	二日
神武天皇祭	三日
山城梅宮祭	三日
山城大原野祭	八日
山城稲荷祭	九日
下總香取祭	十四日
近江日吉祭	十四日
近江建部祭	十五日
山城平安祭	十五日
信濃諏訪祭	十五日
觀櫻會	中旬
駿河東照祭	十七日
東宮櫻誕辰	廿九日
武藏靖國祭	三十日

十三州曇つて富士の卯月かな　熊猿

氣節

清明（五日）　春分の後十五日目なり萬物此に至り潔齊にして清明なりといふ意

土用（十八日）　清明の後十三日目

穀雨（廿一日）　清明の後十六日目なり雨百穀を生ずるの意

行事

一日更衣、袷に移る、爐を塞ぐ○八日佛生會、灌佛、花御堂などを設く、又諸寺院門前に手桶柄杓等を賣るもの出づ、兒童之を求め浴佛の甘茶を受け來つて之を飲む○上旬復活祭八日間に亙りて耶蘇の復活を祝祭す○徴兵檢査始まる○十三十四兩日當麻寺練供養○十五日銃獵停止○月の上旬大汐、中旬小汐なり汐干狩の適所としては東京品川灣、攝州住吉など名高し。

節用

【食品】櫻鯛、櫻鰕、車鰕、飛魚、鱈、烏賊、蛤、平目、室鰺、新鮭、新鱒、鰹、里芋、土當歸、根みつば、春菊、筍、鶯菜、蓮根、和布、海雲、鹿尾菜、小蕪、慈姑、茗荷竹、葱、玉葱、土筆、嫁菜、田芹、櫻餅、油桃。

【觀賞】櫻、桃、梨、連翹、木瓜、山茱萸、薩、九輪草、小田巻草、アネモネ、チユリツプ、アルメリア、アラセイトー、ラナンキユラス、春曙、春の宵、春の月、百千鳥。

【遊覽】春風駘蕩の候なれば遊覽自在なり、櫻花は上野、向島、小金井、吉野、嵐山等諸國に名所多く、桃花は市川、越ヶ谷等著名なり、又菜花の黄、蓮花草の紅等は到る處の田圃に見るべく、各種博覽會の類も概して此月に開催せらる、隅田川にはボートレース行はれ、泉岳寺には義士の祭典あり。

【趣味】乘馬、釣魚、投網○草花の栽培、盆栽の手入れ、豆、蕎麥、楊梅、檜子、芋等の播種、南天、石楠花、海棠、躑躅の根分、又此月下旬には春蠶を掃き立つ。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	発信	記	来客	来客数

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。